

重点地区の取組について

2023.11.10
東京都都市整備局

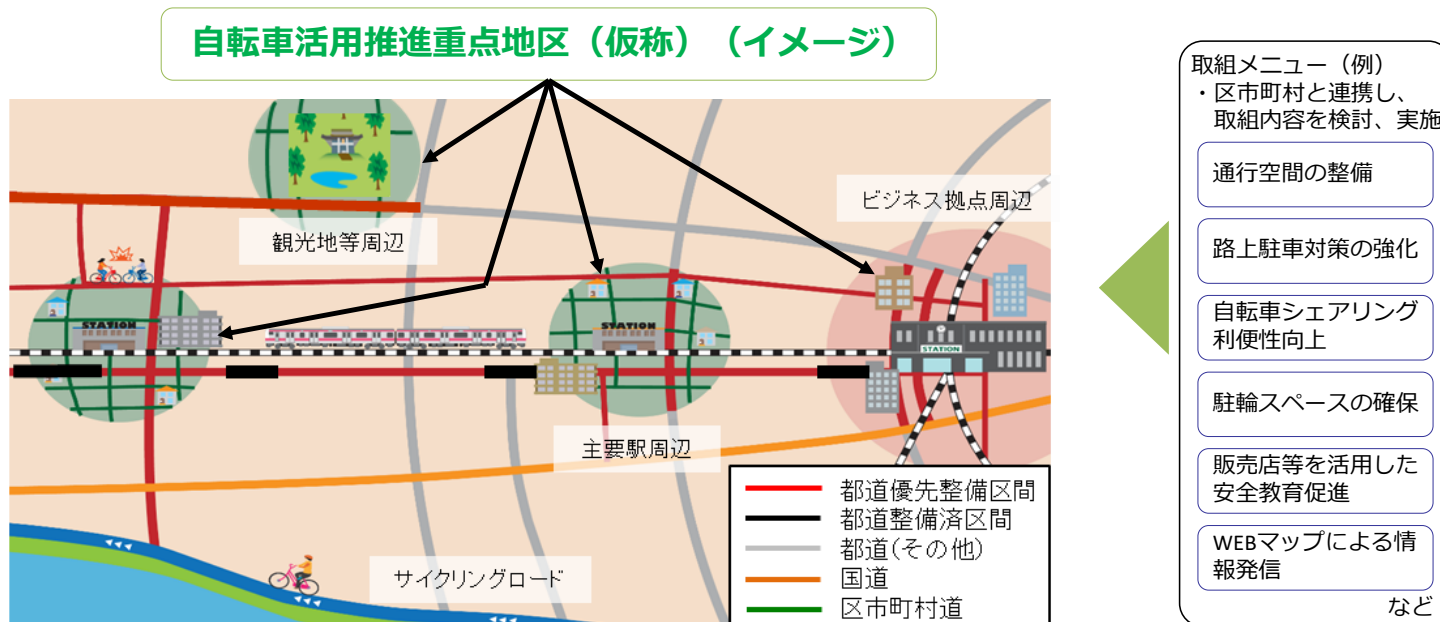
1. 東京都自転車活用推進計画における位置づけ

(1) 目的

- 東京都の自転車施策は多岐に渡っており、各施策個別に見た場合、適用ケースや施策の相乗効果が理解しづらいです。
- このため、自転車通勤や自転車観光、安全・安心な自転車利用など、自転車活用推進の重点地区を選定し、各地区に適した様々な施策をパッケージ化することで、より良い自転車利用環境の創出につなげることを目的とします。国、都、区市町村や民間企業等、各関係主体の協働によって各施策の早期実現を促進し、都民への理解を促すとともに、他地区への展開を図ります。

(2) 自転車活用推進重点地区のイメージ

- 一定の範囲の地区において、国、都、区市町村が協働で集中的な環境整備を実施する「自転車活用推進重点地区」を設定します。



1. 東京都自転車活用推進計画における位置づけ

1) 自転車活用推進重点地区による効果

- 各施策を連携して進めることができ、行政区域を横断して推進可能であり、エリアへの集中実施により早期実現が可能となります。
- また、充実した自転車利用環境を住民・来訪者に実体験してもらい、自転車の活用可能性を考えてもらうきっかけづくりにつなげます。

2) 自転車活用推進重点地区の実施

- 先行的に取り組む地区として「先行推進重点地区」を選定し、国、都、区市町村等の各関係主体と協働で整備計画を策定して順次取組を実施していきます。なお、整備計画については、各地域の実情に応じた自転車施策のパッケージ化を行うこと、歩行者や自動車交通に配慮した総合的な視点での自転車利用環境の構築を行うことを念頭に検討します。

先行する3つの重点地区については、
今年度から、各地区ごとに取組テーマを定めて実施

重点地区の取組 (地区のテーマ)

新宿地区のテーマ

自転車通行空間確保のための路上駐車削減

テーマ選定の理由

車道上に整備自転車通行空間が進んできたが、路上駐車が理由でその空間を通行できない事例が見受けられるため

今後の取り組み方針

駐車実態の調査や、関係部署との連携した路上駐車対策の検討

重点地区の取組 (地区のテーマ)

吉祥寺・三鷹・武蔵境地区のテーマ

生活道路における自転車に関連する事故の削減

テーマ選定の理由

地区内は生活道路が多いが、生活道路は幹線道路と比較して交差点や出会い頭の事故が多いため

今後の取り組み方針

- ・部会での現地調査を実施、その上での対応策等の検討
(例：生活道路への自転車のストップマーク設置検討)
- ・自転車利用者のマナー・ルールの向上に向けたアクションの検討

重点地区の取組 (地区のテーマ)

晴海・豊洲・有明地区のテーマ

快適な自転車環境の更なる活用

テーマ選定の理由

自転車通行空間の整備はある程度充足したことを踏まえ、臨海エリアの魅力増進と利便性の向上に向けて、整備された空間を更に積極的に活用

今後の取り組み方針

- ・海上公園も巻き込んだ、訪問ポイントのアピール
- ・自転車利用者のマナー・ルールの向上に向けたアクションの検討
- ・シェアサイクルの活用の促進

重点地区の取組

全地区共通のテーマ

ヘルメット着用促進

テーマ選定の理由

令和5年4月1日より、改正道路交通法が施行され、ヘルメット着用が努力義務となったため

今後の取り組み方針

地区毎の取組みとして、ヘルメット着用の推進に努める

2. 新たな自転車活用推進重点地区の拡充について

現在の3地区（新宿地区、吉祥寺・三鷹・武蔵境地区、晴海・豊洲・有明等地区）に加えて、新たな自転車活用推進重点地区を検討しております。